

コンテンツの楽しみ方を体験できる
AV 総合展示会「OTOTEN2018」を迎えて

一般社団法人日本オーディオ協会 会長 校條 亮治

オーディオファンの皆様、音楽ファンの皆様、お待たせいたしました。いよいよ「OTOTEN2018」が開催されます。あまりオーディオに馴染みがなくても、多くの音楽好きな方々にも参加して頂きたく、昨年から会場を地の利の良い東京有楽町駅前の「東京国際フォーラム」に移しました。今年はその二年目となりますが、昨年以上に“楽しさ満杯”でお届けします。大きなポイントを JAS ジャーナル読者の皆様に一足先にお届けしようと思えます。

今年の特徴の一つは何と言ってもここでしか聴けないコンテンツを聴くことが出来る事です。日本オーディオ協会は「ハイレゾ・オーディオ」を推進してきましたが、今やスタンダードになりました。一方でハイレゾ・オーディオを進めれば進めるほど、良い音のコンテンツが必要であることを痛感し、協会自ら「ハイレゾ・オーディオ」再生に相応しいコンテンツを監修・制作しました。これらは会場で聴くこともできますが手に入れていただく事も出来ます。これらは各ブースでは勿論、セミナーで詳しい解説付きで試聴できます。また NHK が世界に先駆け今年 12 月 1 日から始める「8K・22.2ch」放送の高精細映像と高臨場感音声による放送の視聴体験をこの会場のために準備した注目のコンテンツを駆使して展開します。

さらに、ラヂウス株式会社による、神楽坂アコースティックライブ会場からのハイレゾによるライブ中継視聴会も開催されます。そして極め付きは今再び注目され出した「アナログレコード祭り」として「ジャケットフェア」、「レコード試聴会」、「眼で見るレコードが出来るまで」、「掘り出しレコードその場で購入」等楽しさ満杯の展示会となっています。

このように今年の「OTOTEN2018」はハイレゾ時代に相応しい「高音質コンテンツ」の視聴会が多く組み込まれています。勿論これらを再生するべき最新技術を搭載した機器による試聴展示会も従来に増して実施されます。特に皆様があっと驚くような企業の新技術商品が出展されます。さらに、マニアでなくてもお持ちの機器のレベルアップのための「オーディオアクセサリ試聴&即売会」等お気軽に寄って頂く試みも開催されます。そのほかに「ハイレゾ搭載カー」の



OTOTEN
AUDIO·VISUAL FESTIVAL 2018

実演試聴会等ご期待に沿える内容満杯となりました。そして最後に隣の「有楽町ビッグカメラ」様も共催で展開する“空くじなし”の「スタンプラリー抽選会」と銘打った入場者全員が参加できるくじ引き大会も開催されます。

日本オーディオ協会はこのように「オーディオの楽しさ開発」を目指し、「高度な技術」から「良い音探しのコンテンツ」まで幅広くこの「OTOTEN2018」で提案していきます。

オーディオの停滞が問われて久しいですが、決して多くの方々が音楽嫌いになった訳ではありません。現実的にはスマートスピーカなどこれまでのオーディオ機器とは違ったジャンルの商品も出てきました。これらに遅れることなく、こよなく音楽とオーディオを愛する方々のために留まることなく活動していきます。どうぞ皆様こそってご参加いただければ幸いです。

<開催概要>

会 期：2018年6月16日（土）・17日（日）（2日間）

16日：10時00分～19時00分

17日：10時00分～16時00分

会 場：東京国際フォーラム

東京都千代田区丸の内3-5-1

主 催：一般社団法人日本オーディオ協会

出展企業：90社・団体

入場無料

公式ホームページ：<http://www.oto10.jp/>

会員様、オーディオ・音楽ファンなど多くの皆様を東京国際フォーラムでお待ちいたします。